



長門市と下関市の海岸のそれぞれ2地点において、地元の子どもたちが海辺の漂着物を回収・分別して、海岸の汚染実態を理解してもらおうという取り組みです。菱海中学校の生徒ら153人が大浜海岸の10m四方の区画内のごみを拾い、ごみの種類や国別に分けて数を数えたり、重さを量ったりしました。また、地元ボランティアの人たちによる海岸清掃も同時に行われました。



**大浜海岸で漂着物調査  
もう汚さないで！**

10月14日、大浜海岸で海辺の漂着物調査が実施されました。これは、下関市との連携事業「北浦海岸自然環境保全事業」の一環として、



**「俵山村民塾」開所式  
俵山公民館が新たな船出**

俵山公民館が10月から指定管理者制度により運営されることとなり、その開所式が10月1日に行われました。式では、俵山発展協議会の藤野忠次郎会長が「自治の心を育て地域の発展に向けて努力をしていきたい」とあいさつをしました。続いて松林市長が「俵山は地域の特性を生かしたまちづくりを積極的に実践されている先駆的な地域。県内初の指定管理者制度の公民館として、他が目をみはる成果を上げていただきたい」と述べました。次に俵山中学校2年の宮本岳君が、公民館のあり方について意見発表をしました。続いて、フォーカダンスクラブなどの公民館活動団体によるアトラクションがにぎやかに行われ新たな門出を祝いました。



の成果を競い、自己記録へ挑戦してもらおうとともに、他校の児童との親睦を図ることを目的に毎年開催されているもので、市内13の小学校の5、6年生約640人が参加。100m走や60mハードル走、走り高跳び、走り幅跳びなどが行われました。秋晴れの空の下、子どもたちは日頃の練習の成果を発揮しようと全力で競技に取り組んでいました。



**長門市小学校陸上記録会  
自己ベストに挑む！**

10月10日、ふれあいパーク三隅で第4回長門市小学校陸上記録会が開催されました。この記録会は、日常の体育活動



**市内各地で敬老会  
いつまでもお元気で！**

10月4日から24日にかけて、市内6地区で敬老会が開催されました。10月4日には、三隅農業者トレーニングセンターで三隅地区の敬老会が行われ、195人のお年寄りが参加しました。会場では、式典が行われた後、三隅保育園の園児が「いつもやさしくしてくれてうれしいです。いつまでも元気で長生きしてください」とお祝いの言葉を贈りました。そのほか、民謡や詩吟、日本舞踊などのアトラクションも披露され、会場は大いに盛り上がりました。今年度、市内で75歳以上になる敬老会の対象者は、7603人（長門地区3805人・三隅地区1174人・日置地区811人・油谷地区1813人）でした。



子どもたちは学年ごとに歌や踊り、合奏などを元気いっぱい披露。最後には児童全員による合唱も行われ、周囲を囲む保護者などから温かい拍手が送られました。合奏を発表することにより、楽隊のすばらしさを体感するとともに、互いの表現の良さに気付くことを目的に平成10年から毎年行われているもので、今年は全校児童596名が参加しました。



**深川小学校楽隊集會  
野外劇場に歌響き渡る**

10月22日、赤崎神社楽隊敷で深川小学校楽隊集會が行われました。この楽隊集會は、国指定重要有形民俗文化財である楽隊敷で歌や